

モンゴル(Mongolia)といえば、大草原とゲルによる遊牧生活を思い浮かべる人や、ゴビ砂漠などを思い浮かべる人も多いと思います。しかし大草原と砂漠という相反するものが存在するということに「違和感」を唱える人は意外と少ないものです。このように、私たちはモンゴルという国に対して知っているようで知らないことが多くあります。

日本とモンゴルは十三世紀の元寇(鎌倉時代中期に、当時大陸を支配していたモンゴル帝国およびその属国である高麗王国によって2度にわたり行われた対日本侵攻の呼称)、二十世紀初頭のモンゴル独立運動、第二次大戦時など歴史的な場面で関わってきました。また、1939年のノモンハン事件(満州国とモンゴル人民共和国の間の国境線をめぐって発生した紛争で、大日本帝国とソビエト連邦間で断続的に発生していた日ソ国境紛争のひとつ)などの不幸な過去を経ながらも、両国は1972年に国交を結び、現在では世界有数の親日国として知られています。

モンゴル国はおよそ日本の4倍の国土を持ち、約8%が森林地帯で2.5%が砂漠地帯ですが、最近では国土の90%で砂漠化が進んでいるようです。元は3800の河川と3500の湖があったといわれていますが、2000年以降に約850の河川と約1000の湖が地図上から姿を消しています。また、世界有数の鉱物資源を有し、潜在的な発展の可能性を秘めていながらも、社会主義から資本主義へ移行して20年余りの、急激な市場経済への移行や厳しい自然環境など複合的な要因によって、様々な課題を抱えることとなっています。

伝統的な遊牧を活かした「持続可能な開発」を目指す一方で、鉱物資源開発に依存した飛躍的な経済発展と近代化を模索しているモンゴル。伝統と開発の狭間で懸命に生きる子どもたち。今回のスタディツアーでは、そうしたモンゴルの「今」を見つめ、人道支援活動に携わってきた人々の話を聞き、現地の子供たちと触れ合うことで、過去を振り返りつつも未来を見据えた両国の関係のあり方を見つめ、地域社会における相互理解や友愛への道筋を探るとともに、二国間に留まらない社会的弱者にやさしい地域の構築や社会貢献のあり方などを考えるためのヒントを得ることが出来るのではないかと考えます。

インターユース堺の国際交流活動には、語学力や特別なスキルは必要ありません。この夏、雄大なモンゴルの大地での交流を通じて、人権意識と国際感覚の向上に取り組む意欲のある団員を募集します。

1 日程

(2015年2月1日現在の予定。フライト便および訪問予定組織等の変更により日程や行程は変更されます。)

月 日	行 程	プログラム等	宿泊地
8月10日(月)	関空国際線出発ロビー(午前集合) 関空発→ ウランバートル(午後着)	移動 日本大使館表敬訪問	ウランバートル ホテル泊
8月11日(火) ~ 8月19日(水)	ウランバートル市内 ~トゥブ県 ・セルゲレン ・バヤンウンジュール ~ウランバートル	JJICA モンゴル事務所、国連関係機関等訪問、教育・福祉施設等訪問・調査、医療・環境改善に取り組む NGO や在モ日本人との交流・意見交換、経済・市場調査、文化・歴史伝承啓発施設訪問・調査、遊牧民の暮らし体験(乗馬、ゲル組立)と自然環境調査、モンゴル人学生との文化交流	ウランバートル: ホテル トゥブ県: ホテル・ツーリストキャンプ 学校寄宿舎・ホテル
8月20日(木)	ウランバートル(午前発)→ 関空着 解散式	移動	

2 申し込み方法及び団員の決定 (申し込み者の中から選考によって団員を決定します。)

1. 申込資格

- ① 堺市内在住の2015年4月1日現在で満15歳から30歳までの人。
但し、中学生は除きます。
- ② 本会の目的を理解し、約束を守り、規律ある行動ができる人。
- ③ 事前研修・派遣期間中および事後活動を含めた全日程を遂行できる健康状態にある人。(3. 事業概要を参照してください)
- ④ IYS 会員として、事前研修から事後活動までのIYSの実施する事業に参加する意思のある人。(3. 事業概要を参照してください)

2. 申込期間 2015年4月11日(土)~5月8日(金) 必着

3. 申 込 先 インターユース堺事務局分室(持参か郵送)

〒590-0822 堺市堺区協和町2丁61番地の1人権ふれあいセンター内
持参の場合:午前9時~午後5時15分(土曜、日曜、祝日除く)の間

4. 提出書類 <提出書類は返却いたしません。>

- ① 本会規定の参加申込書
(必要事項を記入し、写真を貼付したもの。
右ページの参加申込書のページをコピーして使用してください。)

- ② 「インターユース堺で学びたいこと」をA4 400字詰め横書きの原稿用紙2枚程度にまとめたもの(ワープロ、パソコン可)

- ③ 第1次選考結果通知送付用の封筒
(郵便番号、住所、名前を記入し、82円切手を貼付したもの)

5. 選考から決定まで

- ① 第1次選考・提出書類による書類選考
5月16日(土)付け郵便で本人に選考結果を通知します。
- ② 第2次選考・第1次選考合格者による面接選考
5月23日(土)付け郵便で本人に選考結果を通知します。
第1次選考の通知で5月21日(木)、第2次選考の通知で5月28日(木)までに選考結果が届かない場合は、事務局分室までお問い合わせください。
なお、選考結果についての電話等によるお問い合わせにはお答えいたしません。

6. 派遣団員の取り消し

団員として決定後、研修等において団体行動などに支障をきたすと認められた場合は、決定を取り消すことがあります。

(1) 事前研修・事後活動

事前研修

第1～3回	6月5, 12, 19日	(金)	18:45～	堺市役所本館3階会議室
第4回	6月27～28日	合宿(土・日)	10:00～翌17:00	舳松人権歴史館、紀泉わいわい村
第5回	7月3日	(金)	18:45～	人権ふれあいセンター学習室
第6～8回	7月10, 17, 24日	(金)	18:45～	堺市役所本館3階会議室
第9回	7月31日	(金)	10:00～	平和と人権資料館会議室
第10回	8月6日	(木)	13:30～	堺市役所本館 職員会館会議室

事後活動

第1～8回	8月28日、9月4, 11, 18, 25日、10月2, 9, 16日	(金)	18:45～	堺市役所本館3階会議室
堺まつり共催パネル展	10月17日	(土)	10:00～15:00	堺市役所市民広場
第9回	10月23日	(金)	18:45～	堺市役所本館3階会議室
第10回(報告集会)	10月30日	(金)	18:30～	堺市役所本館3階会議室
第11～17回	11月6, 13, 20, 27日、12月4, 11, 18日	(金)	18:45～	堺市役所本館3階会議室

主なカリキュラム

(事前研修) 結団式・IYS事業説明、世界の人権の流れ、団員交流プログラム、渡航手続きについて、舳松人権歴史館見学・フィールドワーク、同和問題について、海外派遣活動に関するワークショップⅠ・Ⅱ・Ⅲ、海外交流活動・国際貢献活動について、個人テーマについて、男女共同参画社会について、「世界の平和」について、日本の少数民族について、堺市表敬訪問、出発式

(事後活動) 活動紹介パネル作成・パネル展示、交流貢献プロジェクト策定、個人テーマ報告・報告集作成

(発展研修) これまでの活動、経験をふまえて、堺市における国際理解、多文化理解および人権意識の向上につながるプログラム。

OB/OG講演

(2) 人権啓発活動

8月に実施される「平和と人権展」、各区民まつり等での人権啓発ブースでの活動、12月に開催される「人権を守る市民のつどい」の他、堺市が実施する人権啓発活動に体験研修として協力参加します。

(3) 社会貢献活動

市内各学校や地域の集会、企業の研修等への出前講座(随時)
12月23日(祝)を実施日とするヤングサンタ事業の企画・運営

(4) その他

修了証授与式 2016年3月11日(金)(予定)

インターユース堺 とは
International Youth SAKAI



「参加・開発・平和・人権」をテーマとして、人権啓発事業、交流事業、社会貢献事業を主な事業として活動しています。青年を海外へ派遣する海外派遣事業、市内で開催される人権啓発事業への参加、ヤングサンタ、交流会など、各種事業を青年主体で展開することで、青年に社会参加の場を設け、活動をとおり交流や連帯を図るなかで、平和や人権が尊重される社会の実現に貢献できる人権意識と国際感覚を身につけた青年の育成を目的とする団体です。

お申込み・お問い合わせ インターユース堺 (International Youth SAKAI)

事務局：〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号 堺市役所 人権推進課内

TEL (072) 228-7420 Fax (072) 228-8070

事務局分室：〒590-0822 堺市堺区協和町2丁61番地-1 堺市立人権ふれあいセンター内

TEL (072) 245-2538 Fax (072) 245-2595